

開星中学校・高等学校 公開教育研究会のご案内



テーマ：対話を生む授業づくり

～安心安全な場づくりと多面的な思考～

開催日時：2019年10月15日（火）12：30～16：30

記念講演 溝上 慎一氏

（学校法人桐蔭学園理事長・桐蔭横浜大学特任教授）

演題 「アクティブ・ラーニングの必要性とその実現に向けて

～生徒の身体性をいかにアクティブにするか～」

会場：開星中学校・高等学校

主催：開星中学校・高等学校

後援：島根県・島根県教育委員会・島根大学・島根県立大学

ご挨拶

初秋の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本校は今年度「対話を生む授業づくり ～安全安心な場づくりと多面的な思考～」という研究テーマを設定し、生徒の主体的な学びを促す授業開発を目指しているところでございます。その取組みを公開し更なる研鑽を積むために「開星中学校・高等学校公開教育研究会」を開催いたします。

つきましては、ご多用中のこととは存じますが、多数の先生方にご参会いただきますようご案内申し上げます。

開星中学校・高等学校
校長 大多和 聡宏

令和元年度研究テーマ

「対話を生む授業づくり ～安全安心な場づくりと多面的な思考～」

日 程 10月15日(火)

12:30～12:50	受付	
13:00～13:50	研究授業	授業A 現代社会「働き方改革への提言書をつくろう ～過労死をなくせ～」 授業B 科学探究「脱☆知ったか ～個人研究に向けて～」 授業C 生活教養「日本文化を生活に」
14:00～14:50	研究協議	授業A 現代社会 図書館 授業B 科学探究 AL教室 授業C 生活教養 多目的教室
15:00～16:30	講演会	溝上 慎一氏 (学校法人桐蔭学園理事長・桐蔭横浜大学特任教授) 演題 「アクティブ・ラーニングの必要性和その実現にむけて ～生徒の身体性をいかにアクティブにするか～」

記念講演

講師 溝上 慎一氏

演題 「アクティブ・ラーニングの必要性とその実現に向けて

～生徒の身体性をいかにアクティブにするか～」

1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学高等教育教授システム開発センター助手、2000年講師、2003年京都大学高等教育研究開発推進センター准教授。2014年教授を経て、

2018年9月に桐蔭学園へ異動。2019年4月より現職。京都大学博士（教育学）。専門は、心理学（現代青年期、自己・アイデンティティ形成、自己の分権化）と教育実践研究（学びと成長、アクティブラーニング、学校から仕事・社会へのトランジションなど）。著書に『現代青年期の心理学―適応から自己形成の時代へ―』（2010 有斐閣選書、単著）、『アクティブラーニングと教授学習パラダイムの転換』（2014 東信堂、単著）、『アクティブラーニング型授業の基本形と生徒の身体性』（2018 東信堂、単著）、『高大接続の本質―「学校と社会をつなぐ調査」から見えてきた課題―』（2018 学事出版、編著）など多数。



公開授業の内容

授業 A【現代社会】「働き方改革への提案書をつくろう ～過労死をなくせ～」

授業者：倉掛裕喜 矢頭香織 日下舞子 学年：中3

現代の雇用・労働問題を理解したうえで、特に若者の労働環境をどう改善するのかを考え、提案書という形で表現できるようになることがねらいである。近い将来、自分が働く際の労働環境がどうあって欲しいかを主体的に考えるようになってほしい。また、図書館との連携のあり方も提案していきたい。

授業 B【科学探究】「脱☆知ったか～個人研究に向けて～」

授業者：伊藤知子 大田毅 大西浩平 学年：中2

課題研究においては、先人たちが行った研究の諸業績をふまえたうえで、社会・学術の諸問題から自分が取り組むべき課題を見出し、それに対して、客観的なデータをもとにしつつ、自分自身の考察やアイデア等で新たな知見を創造、探究し、他者と共有することで課題解決に貢献することである。（啓林館「課題研究メソッド」）

この考えを念頭に、中2は、1学期に全国のSSH指定校でどのような研究が行われているかを調べました。その中で、各自が興味をもった研究に引用されている文献や関連する文献を読み、まとめをしました。今回は、各自の興味を解決することが、どのように社会に役立つと考えているかを発表します。

授業 C【生活教養】「日本文化を生活に」

授業者：岸本よし子 学年：高校3

「生活教養」は本校独自の授業です。「心を届ける」という言葉をキーワードに、「マナー」や「日本文化」、「生活を楽しむ・創る」、などの授業を行っていますが、今回は、日本人が育ててきたアイテムを、工夫し、これからの生活に役立てることを考えたいと思います。

お申込み方法

次のいずれかの方法でお申し込み下さい。

- ① 添付の参加申込書にご記入いただき FAX かメールにて送信していただく。
- ② 本校ホームページの申し込みフォームに記入していただく。

お申込み締切り 10月8日(火)

送信先FAX番号 0852-21-9118

送付先メールアドレス hiro-kurakake@kaisei.matsue.shimane.jp

ホームページ <http://www.kaisei.matsue.shimane.jp/>

申し込み先：開星中学校・高等学校 研究開発部長 倉掛 裕喜 宛

ふりがな		
所属名		
発信者	ふりがな	
	氏名	
	電話	
	FAX	
	メール	

参加者

職名	氏名	研究授業	研究協議	講演会
		授業記号	授業記号	○印
(例)教諭	開星 花子	A	A	○

※研究授業のみ、講演会のみなど、部分的なお申し込みでもかまいません。

本校へのアクセス

JR 松江駅より徒歩 20 分

山陰道松江中央ランプより車 5 分

(住所)

〒690-0017

松江市西津田 9-11-1

(TEL 0852-21-4915)

